

事業最終報告書

プログラム名	JPF「共に生きる」ファンド				
事業名	被災者生きがい支援事業				
開始日	2012年7月1日	終了日	2012年12月31日	日数	6カ月：184日間
団体名	特定非営利活動法人夢ネット大船渡		担当者名	岩城恭治	

1. 事業目的 (事業計画と同一)	<p>①被災者（仮設・在宅・みなし仮設）を訪問し、傾聴を重点に支援</p> <p>②被災されたお母さん方への趣味としての手芸支援</p> <p>③被災したお母さん方の手芸を内職へつなげる支援</p> <p>④県内外ボランティアの支援</p> <p>⑤手芸品を扱う業者育成</p>																																																									
2. 事業の成果 概要	<p>①被災者を訪問し、傾聴を重点に支援 傾聴訪問軒数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>平成24年</th> <th>大船渡市・住田町</th> <th>陸前高田市</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7月</td> <td>13軒訪問</td> <td>36軒訪問</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>22軒訪問</td> <td>9軒訪問</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>41軒訪問</td> <td>39軒訪問</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>38軒訪問</td> <td>31軒訪問</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>33軒訪問</td> <td>36軒訪問</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>41軒訪問</td> <td>37軒訪問</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>188世帯</td> <td>188世帯</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">合計 376軒訪問</td> </tr> </tbody> </table> <p>②被災されたお母さん方への趣味としての手芸支援 手芸講習回数・参加者</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催月</th> <th>開催回数</th> <th>参加人数</th> <th>開催月</th> <th>開催回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>24年7月</td> <td>5</td> <td>31</td> <td>10月</td> <td>7</td> <td>51</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>5</td> <td>42</td> <td>11月</td> <td>7</td> <td>66</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>4</td> <td>37</td> <td>12月</td> <td>11</td> <td>149</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">合計</td> <td>39回</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">延べ参加者数</td> <td>376人</td> </tr> </tbody> </table> <p>③被災したお母さん方の手芸を内職へつなげる支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 手芸内職希望者61名をとなりました。 <ul style="list-style-type: none"> 内訳、各自の手作り手芸者31名 <ul style="list-style-type: none"> 椿ブローチづくり30名 他地区支援者からの要望による手芸作成 	平成24年	大船渡市・住田町	陸前高田市	7月	13軒訪問	36軒訪問	8月	22軒訪問	9軒訪問	9月	41軒訪問	39軒訪問	10月	38軒訪問	31軒訪問	11月	33軒訪問	36軒訪問	12月	41軒訪問	37軒訪問	小計	188世帯	188世帯	合計 376軒訪問			開催月	開催回数	参加人数	開催月	開催回数	参加人数	24年7月	5	31	10月	7	51	8月	5	42	11月	7	66	9月	4	37	12月	11	149	合計		39回	延べ参加者数		376人
平成24年	大船渡市・住田町	陸前高田市																																																								
7月	13軒訪問	36軒訪問																																																								
8月	22軒訪問	9軒訪問																																																								
9月	41軒訪問	39軒訪問																																																								
10月	38軒訪問	31軒訪問																																																								
11月	33軒訪問	36軒訪問																																																								
12月	41軒訪問	37軒訪問																																																								
小計	188世帯	188世帯																																																								
合計 376軒訪問																																																										
開催月	開催回数	参加人数	開催月	開催回数	参加人数																																																					
24年7月	5	31	10月	7	51																																																					
8月	5	42	11月	7	66																																																					
9月	4	37	12月	11	149																																																					
合計		39回	延べ参加者数		376人																																																					

	5名																
	<ul style="list-style-type: none"> ・手芸カタログ作成 他の助成金にて4500部作成し、現地域内や遠隔地支援者へ発送中である。 																
	④県内外ボランティアの支援																
	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>24年7月</td> <td>16団体</td> <td>10月</td> <td>38団体</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>24団体</td> <td>11月</td> <td>24団体</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>24団体</td> <td>12月</td> <td>19団体</td> </tr> <tr> <td colspan="4">合計 145団体</td> </tr> </table>	24年7月	16団体	10月	38団体	8月	24団体	11月	24団体	9月	24団体	12月	19団体	合計 145団体			
24年7月	16団体	10月	38団体														
8月	24団体	11月	24団体														
9月	24団体	12月	19団体														
合計 145団体																	
	⑤手芸品を扱う業者育成																
	手芸者から、ネット販売を立ち上げたいとの人があり、手芸内職者を紹介して、ネット立ち上げ準備中です。12月末には立ち上げる予定でしたが、予定より遅れています。																

3. 事業計画変更の記録

なし

4. 事業の成果（個別）

(1) 被災者を訪問し、傾聴を重点に支援 傾聴訪問軒数

訪問世帯数 延べ376世帯（24年7月～12月）

★訪問しますと「しばらく来なかったね」と言われると、「覚えてくれたんだ」と嬉しくなりました。

★訪問した際に「あがらんえ」と言われた時には、部屋へ入って話を聞くようにしています。中に案内されるように顔知り合いとなったことも、大変良かったなあと思っています。

★一人で暮らしていると「話し相手がなく」、今日は「しゃべって」よかったと言われます。「しゃべる」機会が無いのが寂しです。しかし、誰でも話し相手になるものでもないようです。

★被災後息子のところ（関東方面）へ行って、何不自由なく暮らしていました。近所にも避難して来た人も居りましたが、被災前後の気仙の事情を知っている人と話したいとの一念で、被災地へ戻って来た人が多くおります。知り合いとお話することがいかに大切か分かりました。

★「家族が亡くなったのは私のせいである」と悩み、これが原因か？ 引きこもりになった人がありました。訪問の度に「また寄るからね」「また寄れよ」と声を掛け合ってきました。その後「もう大丈夫だから」と言われ安心しました。

★何度も来るのは「あなただけだ」と信頼されるようになった人もありました。

★抽選で仮設へ入居しているので、被災前の近所の方々の情報を知りたがっている人が多く、〇〇さんはどこに住み、元気かな、と聞かれることもあります。知っている際は「〇〇に住み、元気だよ」と答えるが、知らない際は、情報を聞き、次の訪問までに調べてくることを約束して帰って来ました。

★訪問先が男性宅の際は、夏であれば窓が開いているので話ができるのだが、冬には窓が閉まっ

ているので声をかけ難いです。

★年配の人との話し合いが多かったので、「漬物」の作り方など、長い人生経験を聞くことが出来、大変勉強にもなりました。

(2) 被災されたお母さん方への趣味としての手芸支援 手芸講習回数・参加者

手芸講習 39回開催 376人が参加 (平成24年7月から12月)



★手芸を楽しみに「畑仕事をその前に決めた」「おやつを作って来た」等々、月に1度の手芸講習を楽しみに待っている方が多かったです。一人狭い仮設住宅暮らしには、被災時の辛い事を思い出されるが、手芸講習では、みんなで楽しい話し合いが出来、何よりも笑うことが出来てよかった。そして来月も講習を開くの？ 何を教えてくれるの？ どこでも次回開催を要望されました。

★陸前高田市内の仮設住宅には集会所が無い所が多かったが、この頃空き住宅が出来てきたので「談話室」が出来、手芸講習が出来ようになりました。

ある仮設では、復興ニュースを配布している際に「手芸講習をやってくれない」と声をかけてくれた人がありました。離れた被災者にも案内して頂き本当に助かりました。

★手芸講習開催で集まる機会を作ることが出来、加えて作品を完成することにより喜んで頂けるので、今後も手芸講習を続けていきたいです。

★お世話する人から時々悩みの電話を受けましたが、お世話する人には風あたりがあるものです。気にしては何もできませんので「気にしないこと」と言っています。

★ある仮設の人から「私は手芸づくりで被災の苦しさから立ち直れた」と言ってくれた時には、本当にうれしかった。

★手芸講習で覚えた作品を、自分たちで作って、支援者へお礼に贈って喜ばれた。とのお話しも聞きました。特にポーチは「金具と布」を少額の支出で作れることもあり、喜ばれています。

★手芸品を作りながら新築した家のどこに置こうかと考えながら作っているという人もおりました。



手芸出品者の相談会
於：ふれあい待合室

(3) 被災したお母さん方の手芸を内職へつなげる支援

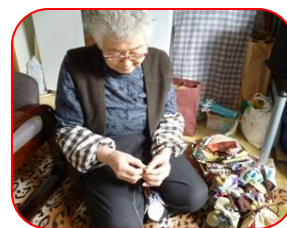
・支援者からの注文による手芸作成販売 2名
支援者からの直接注文に対する被災者への繋いだ人

・これまで手芸材料を届けた人たちを訪問し、内職希望者については、手芸品名を調べ、担当職員へ引き継ぎしました。


その結果、復興手芸品カタログの発行につながりました。

・陸前高田市・住田町の遠距離手芸出品者への支払・納品支援 (5名と1グループ)

・市内イベントでの販売 多く開催したが JPF 助成の職員が直接担当した販売



<p>平成24年8月6日(日) 11:00~15:00 ★販売名称 手芸展示即売会</p>	<p>盛町字東町裏 16 三陸鉄道盛駅ふれあい待 合室とその周辺 売上額=101,570円 個人出店者販売額も含む</p>	<p>手芸品展示即売実行委員 会の主催として開催、12 人と3グループの参加、 4名の欠席者の委託販売 を行う</p>	
---	---	---	--

平成24年9月8日(土) 10:30~16:30 ★販売名称 ふれあい待合室開業 一周年記念イベント	大船渡市盛町 字東町裏 16 三鉄盛駅ふれあい待合室	担当： 千葉ミチ子・村上ミキ子 売上額：9,070円	
--	----------------------------------	----------------------------------	---

(ア) 活動実績、結果、上手くいった点(計画どおりに実施された点も含む)及びその理由

(1) 被災者を訪問し、傾聴を中心とした支援

傾聴は孤立している高齢者の訪問である。職員も同年代に近い方々であるため、親身に傾聴して頂いた。訪問人数ではなく、どれだけそれぞれの訪問者の心支援であるから、急がずゆっくりお話を聞くように指導した。また、職員も一昨年8月から各仮設住宅をパトロールしている方で、高齢者とは顔なじみとなっていることも傾聴活動の成果と思う。

9月28日にJPF支援により開催した「支援者の心のケア研修」(講師：宮城学院女子大学名誉教授)を受講し、時間をかけて傾聴活動を行った結果、下記のような例がありました。



★「家族が亡くなったのは私のせいである」と悩み、これが原因か？引きこもりになった人がありました。訪問の度に「また寄るからね」「また寄れよ」と声を掛け合ってきました。その後「もう大丈夫だから」と言われ安心しました。

(2) 被災したお母さん方の趣味としての手芸支援

月平均5回を予定していましたが、月平均6.5回、1回平均9.6人の参加でした。

毎月1回各所で開催することにより、親しみも生まれ、心の支援にもなることから全仮設住宅ではなく、7ヶ所の仮設住宅で毎月開催することにし、計画通り実行出来た。

開催のつど、来月は何を教えてくれるのと聞かせるほど、喜ばれる手芸講習となった。

指導種類は、ポーチ・ネコ・巾着・バラ(フェルト)・刺し子・コースター・花瓶敷き・松ボックリリース・指あみ 以上9週類



(3) 被災者の手芸を内職へつなげる支援を行う

他助成金を受けた方々が、内職者育成講習やイベントでの販売、手芸カタログ作成等の業務を行い、JPF助成職員は、傾聴や手芸講習を中心として行った。訪問の際に、内職希望等を聞いて歩きましたが、希望者があっても趣味的であり、注文数に追いつけられないような作成では困るなどから、特注者のポーチ作成に2人と納品や代金支払い支援を行った。



(4) 県外ボランティアの支援

NPO 中間支援組織である当法人を訪ねて来て頂く県外ボランティア団体については、連日の取材を含めて対応しました。

毎年1回大阪からバスでイベント開催に、一般社団法人元気人間製造研究所の皆さんは、今年2回目(2年目)に大船渡市と陸前高田市の両会場で大イベントを開きました。当法人は全面的な支援を行いました。

6カ月間に145団体のコーディネートを行いました。

(イ) 上手くいかなかた点(実施計画の下方修正を含む)及びその理由

(1)、傾聴活動

計画通り行えた。

(2) 手芸講習

被災者に満足して頂いた。

(3) 内職者支援

孤立高齢者支援に重点を置いたこともあり、内職者の発掘や支援が十分に出来なかった。その理由は、傾聴や手芸講習を重点に置いた。手芸講習には講習日だけでなく、事前に布を切ったり材料を揃える準備に時間がかかったためです。

(4) 県外ボランティアの支援

十分に満足して頂いたと思います。

6、事業管理体制

(1) 人員配置

理事長の岩城恭治が総括を行いました。

JPF 助成では、3人雇用し、2人は傾聴活動に①一人は大船渡市と住田町担当、②一人は陸前高田市担当、傾聴と手芸講習・手芸内職支援は二人で中心的に担当しました。

③もう一人は主に共通業務として、集計や被災者との連絡や届等の業務などを行った。

(2) 資金管理

3人目の共通業務の方が、会計を専担した。

7、広報の実績

「復興ニュース」(毎月2回発行、10日・25日付、毎回5000部)により、被災者支援情報誌を発行配布している。JPFから支援を受け開催しました「支援者の心のケア研修会」(講師：畑山みさ子氏・9月28日開催)並びに「復興まちづくり講演会」(講師：日下智子氏・11月23日開催)等についても「復興ニュース」での周知や終了後の報告を掲載しました。

これまでの「復興ニュース」発行への助成金先は、下記の通りでした。

中央共同募金会(2011年9月～12月まで)、

日本NPOセンター(2012年1月～10月まで)

現在は東北労働金貨の助成金で発行しています(2013年1月～3月)

8、その他の報告事項

なし